



宮崎県中学校秋季体育大会

～弓道女子団体8位入賞～

10月30日(土) 宮崎県中学校秋季体育大会弓道競技がひむか武道館で行われました。

7月にあった総合体育大会では予選敗退でしたが、今回は見事に6位で予選通過して決勝トーナメントに進みました。

1回戦で三股中学校に2-3で惜敗したものの、3ヶ月間の練習の成果を十分に発揮してくれました。三股中学校は昨年の優勝校ですので、すばらしい健闘だったと思います。



～軟式野球～

野球部は1年生5人しかいないのですが、西小林中学校との合同チームで西諸地区大会準優勝しました。

【西諸地区中学校秋季体育大会の結果】

1回戦	西小林・細野	7-0	三松
準決勝	西小林・細野	6-1	上江
決勝	西小林・細野	3-8	飯野



県大会の1回戦は富田中(新富)でした。いつもの豪快なバッティングが火を噴かずに3-6で惜敗でしたが、1年生で貴重な経験をしたことだろうと思います。これからが楽しみです。

～陸上競技～

陸上競技は2年生女子4名のエントリーです。

<4×100mR>

残念ながら予選敗退でした。

<2年女子100mH>

平山春菜さんが4位入賞でした。上位入賞も狙えるすばらしい走りでした。

<共通女子走高跳>

園田伊織さんが見事に優勝しました。コンディションは万全ではなかったと聞いています。おめでとうございます。

<2年女子100m>

温水華凜さんが残念ながら予選敗退でした。地区大会は2位でしたので、経験を積んでいけば決勝進出も十分狙えると思います。



<共通女子砲丸投>

大學梅乃さんが2位（準優勝）でした。県大会で2位はすばらしい成績なのですが、地区大会で勝っていた選手に記録が及ばなかったようです。悔しさがさらに強くしてくれるでしょう。

伸びる選手はどこが違うか

2016.12 致知

シンクロナイズドスイミング日本代表ヘッドコーチ 井村 雅代

これまでたくさんの選手を指導してこられた中で、伸びる選手はどこが違うと思われますか。

井村 人の言葉を信じてくれること。やっぱり、心にシャッターを下ろす子はダメです。

人の話を聞く時は、耳で聞き、頭で聞き、心で聞かないとダメなんです。耳で聞いてても心のシャッターを下ろしてる子はあかん。選手にはハッキリ言うんです。「あなたはいま心のシャッターを下ろしてるから、もう言うのをやめる」って。いくら言っても入りませんから。



それはその年になるまでの教育環境にも大きく左右されますね。人間は信じるに値するという考えのもとに育てられたかどうかです。もう一つ大事なのが「心の才能」です。

心の才能とは？

井村 自分で限界を決めないこと。できないことにぶつかった時に心の才能のある子は、もうムリだと考えるんじゃなくて、「ああ私の努力が足りなかったんだ。だったらもっと努力しよう」と素直に思って、一ミリでも自分を高めようとする。別の言い方をすれば、しつこいんです。

この頃、とみに思うのは諦めるのはいつでもできるということ。だから諦めたらあかん、諦めたらもう終わりだって。でも、そこで頑張り続けたらそれが当たり前になる。当たり前になったらまた前にいくんです。だから自分で限界を決めたらダメ。自分の可能性を信じなさい。思わぬ可能性が自分には秘められているんだよって。

ですから、心の才能があって、心のシャッターを開けていたら、人って変われますよ。そして、そういう自分を助けてくれる人は世の中にいっぱいいるんです。